

白鷺 (1958)

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 99分

初公開日 1958/11/29

公開情報 大映

【解説】

泉鏡花原作の同名小説を、衣笠貞之助が相良準とともに脚色し映画化。明治末の浜町河岸を舞台に一人の女性の悲恋を描き、カンヌ国際映画祭でも高い評価を得た。

明治四十年代、老舗の料亭〈辰巳屋〉が破産した。一人娘のお篠は、かつて料亭で女中をしていたおとりが女将をつとめる待合茶屋で、小篠という名で芸者として働き始めた。客で成金の五坂が小篠を気に入り、おとりは二人を何とか結びつけようしていた。だがある日、小篠は年若い日本画家の稲木順一と出会い、お互いに惹かれあうようになる。そんな二人の様子を察した五坂に催促され、おとりは小篠を説得。「大変な金が出ている」というおとりの一言に、小篠は仕方なく五坂が待つ寝室へ歩き出すのだった。

【クレジット】

監督 衣笠貞之助

製作 永田雅一

企画 中代富士男

原作 泉鏡花

脚本 衣笠貞之助
相良準

撮影 渡辺公夫

美術 柴田篤二

音楽 斎藤一郎

出演 山本富士子

川崎敬三

野添ひとみ

高松英郎

南左斗子

入江洋佑

角梨枝子

佐野周二

三宅邦子

清川玉枝

村田知英子

大美輝子

清水谷薫

見明凡太郎

細川ちか子
信欣三
賀原夏子
上田吉二郎
小夜福子
小沢栄太郎